

# 渋川看護専門学校 新型コロナウイルス感染症にかかわる対応

(2022.11.9 変更)

1. 学生・教職員は、当校が定める「感染予防対策・感染予防行動」を遵守する。
2. 学生・教職員は、自身と同居家族の日々の体調を把握する。
3. 「体調確認表」の各項目について、日々の状況を正確に記録する。
4. 自身と同居家族に、発熱（37.5℃以上または平熱より 0.5℃以上高い）、鼻汁、頭痛、倦怠感、くしゃみ、咽頭痛等の風邪症状や、味覚・嗅覚の異常、下痢等がある場合の対応。
  - (1) 登校を見合わせ、学校に電話連絡する。
  - (2) 医師の診断結果が出るまでは、家庭内でもマスクを着用し、飲食は別に摂る。できるだけ生活空間を分ける。
5. 同居家族の職場・利用施設・学校・保育園等で、感染者やPCR検査等を受ける（受けた）人があった時には、学校に連絡する。
6. 学生・教職員、および同居家族が、PCR検査等を受けることになった時の対応。
  - (1) 速やかに学校（または担当教員）に電話連絡する。
  - (2) 検査結果が判明するまでは、登校せず自宅で待機する。
  - (3) 結果が「陰性」の時には、医師の指示のもと登校を再開する。その旨を事前に学校に連絡する。
  - (4) 結果が「陽性」であった場合は、保健所・医療機関の指示に沿って対応する。**届出対象外である場合は「健康フォローアップセンター」に登録する。**その旨を速やかに学校に連絡する。
7. 同居する家族が「学級閉鎖」「学校閉鎖」となった場合は、登校を見合わせ学校に連絡する。
  - (1) 濃厚接触者に該当するか等について、**情報**が得られない期間は自宅待機とする。
  - (2) 自宅待機中は、毎朝8時30分に学校に電話連絡し、健康状態を報告する。
  - (3) 原則として、2日間健康状態に異常がないことを確認した後に、指示のもと登校を再開する。
8. **同居家族が、濃厚接触者となった時の対応。**
  - (1) 速やかに学校（または担当教員）に電話連絡する。
  - (2) 原則として2日間は自宅待機とする。臨地実習中は、実習施設の指示に沿う。

- (3) 濃厚接触者となった方がその後の検査で「陽性」と判定された場合は、同居家族が濃厚接触者となる可能性もある。同居する家族全員で十分な感染予防対策を行う（家庭内でもマスクを着用する、食事は別に摂る、タオル等の共用はしない、できるだけ生活空間を分ける等）。
- (4) 自宅待機中は、毎朝 8 時 30 分に学校に電話連絡し、健康状態を報告する。
- (5) 健康状態に異常がないことを確認した後に、指示のもと登校を再開する。

9. 同居家族以外で濃厚接触\*した人が、上記 4~8 に該当する時にも同様に対応する。

※濃厚接触の例：3密状態で過ごした、近距離での会食・喫煙・マスク無しでの会話 等

10. 学生・教職員が、濃厚接触者となった時の対応。

- (1) 速やかに学校（または担当教員）に電話連絡する。
- (2) 原則として、感染者と最後に接触した日の翌日から起算して、**5日間**は出席停止。臨地実習中は、実習施設の指示に沿う。自宅待機中は、毎朝 8 時 30 分に学校に電話連絡し、健康状態を報告する。
- (3) その他、保健所・医療機関・健康フォローアップセンターの指示に沿って対応する。指示内容を学校に連絡する。
- (4) 登校しようとする当日の朝、薬事承認された抗原検査キットで「陰性」であることを確認した後に、指示のもと登校を再開する。登校の際は、検査済みキットを持参する。

11. 学生・教職員の「陽性」が判明した時の対応。

- (1) 速やかに、学校（または担当教員）に電話連絡する。届出対象外である場合は、健康フォローアップセンターに登録する。
- (2) 保健所・医療機関・健康フォローアップセンターの指示に沿って療養する。指示内容を学校に連絡する。
- (3) 原則として、発症日（無症状の場合は検体採取日）の翌日から起算して**7日間**は出席停止。臨地実習中は、実習施設の指示に沿う。自宅療養中は、毎日学校に電話連絡し、健康状態を報告する。
- (4) 登校しようとする当日の朝、薬事承認された抗原検査キットで「陰性」であることを確認した後に、指示のもと登校を再開する。登校の際は、検査済みキットを持参する。

(2022 年 11 月 9 日 通知)